



## 校長室通信



### 「未来の創り手」

先週号でも紹介させていただきましたように、今月18日(土)、「南小国町小・中学生プレゼンテーション大会」が開催されました。

この一年間の「総合的な学習の時間」で取り組んできた学習の成果を発表するという機会でしたが、一・二年生の本校代表者(各学年二人、計四人)は、町内三小学校の代表児童と共に素晴らしいプレゼンテーションを見せてくれました。

この姿には、主催した南小国町の高橋町長や岩切教育長はもとより、審査員の皆さんや参観された町議会議員の方々からもたくさんのお誉めの言葉をいただきました。

これからの時代を生きる子どもたちに対して、本町は「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を身につけてほしいと考えています。具体的には、以下の四つの力です。

- 他者と協働しながら新しい価値を創造する力
- 受け身ではなく、主体性を持って学ぶ力
- 企画力や想像力
- 意欲や志

これらの力を身につけるために、本町では小学校から中学校までの9年間で計画的に取り組めます。とは言ったものの、正直なところ、この一年間は修正を加えながらの取組だったため、生徒はもちろんのこと職員にとっても相当な時間と労力を要しました。しかしながらこの取組は間違いなく広がっていく手応えがあります。なぜならば児童・生徒の感性が豊かであることと、その指導に関わる職員に対応力があるからです。

どこまで伸びるのか、どこまで伸ばせるのか、期待しててください。

### 「人権の町づくり、人づくり」

1月19日(日)、熊本県人権子ども集会が開催され、本校からは生徒5人(引率 高宮教諭)が学校代表で参加しました。

毎年開催されている集会ですが、本年度はハンドボール世界大会が開催されたため、開催時期と場所を変更してのことでした。

参加生徒は、30日に校内で開催した生徒集会で、学んできたことと自分の考えを発表してくれましたが、県内各地の小・中学生、高校生の姿に刺激を受ける貴重な学びの機会になったことが伝わってきました。

本町が取り組む「まちづくりの基本目標」の中に、「おもいやる心を育てるまち」という目標があります。本校3年生が昨年12月に学んだ菊池恵楓園での研修も、この目標を達成していくための取組と言えます。

本校でも「自他への思いやりがある生徒」を育て、「支持的風土があふれる学校、学級を作る」ことを目標としており、その目標に少しでも近づいていきたいと思っています。一歩ずつ一歩ずつ取組を積み上げていく所存です。



【赤井コーディネーターの温かな講評】



【出番を終えてほっと一息】



【会場は、さくらまち熊本城ホール】